資料６

八千代中学校及び広野小学校における児童生徒数及び学級数の推計

児童生徒数及び学級数の推計方法

１　推計方法の考え方

・　令和８年５月１日現在の学級編制による学年別児童生徒数と住所別人口を基礎として、単純進行率法により算出しています。

・　推計期間中の出生数は、推計方法に関わらず、帯広保健所が直近で公表している本市の 15 歳から 49 歳までの女性の年齢別の出生率と、それぞれに該当する年齢別の女性人口を乗じて推計値を算出しています。

２　特別支援学級に在籍する児童生徒数の推計の考え方

・　令和８年５月１日時点で特別支援学級に在籍している児童生徒は、単純進行[1]で特別支援学級に在籍することとして算出しています。
・　小学校の新入生は、本市全体の児童数に占める特別支援学級に在籍する令和８年５月１日の児童数の割合を乗じて算出しています。

３　学級編成

・　通常学級１学級当たりの児童生徒数は、現行の北海道教育委員会の義務教育諸学校学級編制基準規則で定める人数（35 人（中学校第２学年及び第３学年は 40 人）及び少人数学級実践研究事業による人数(小学校第 2 学年は 35 人､中学校第 1 学年は 2 学級以上で 1 学級あたり 35 人)）に基づき算出しています。
・　特別支援学級は、障害の種別ごとに８人編成で算出。

---

[1] 単純進行：　５月１日現在で各小学校に就学している児童生徒の人数と、同じく５月１日現在で住民登録している未就学児が、次年度以降もそのままその校区で新学年に進むと想定して推計したもの。